



DevCon

DEVCON General Session Day 2

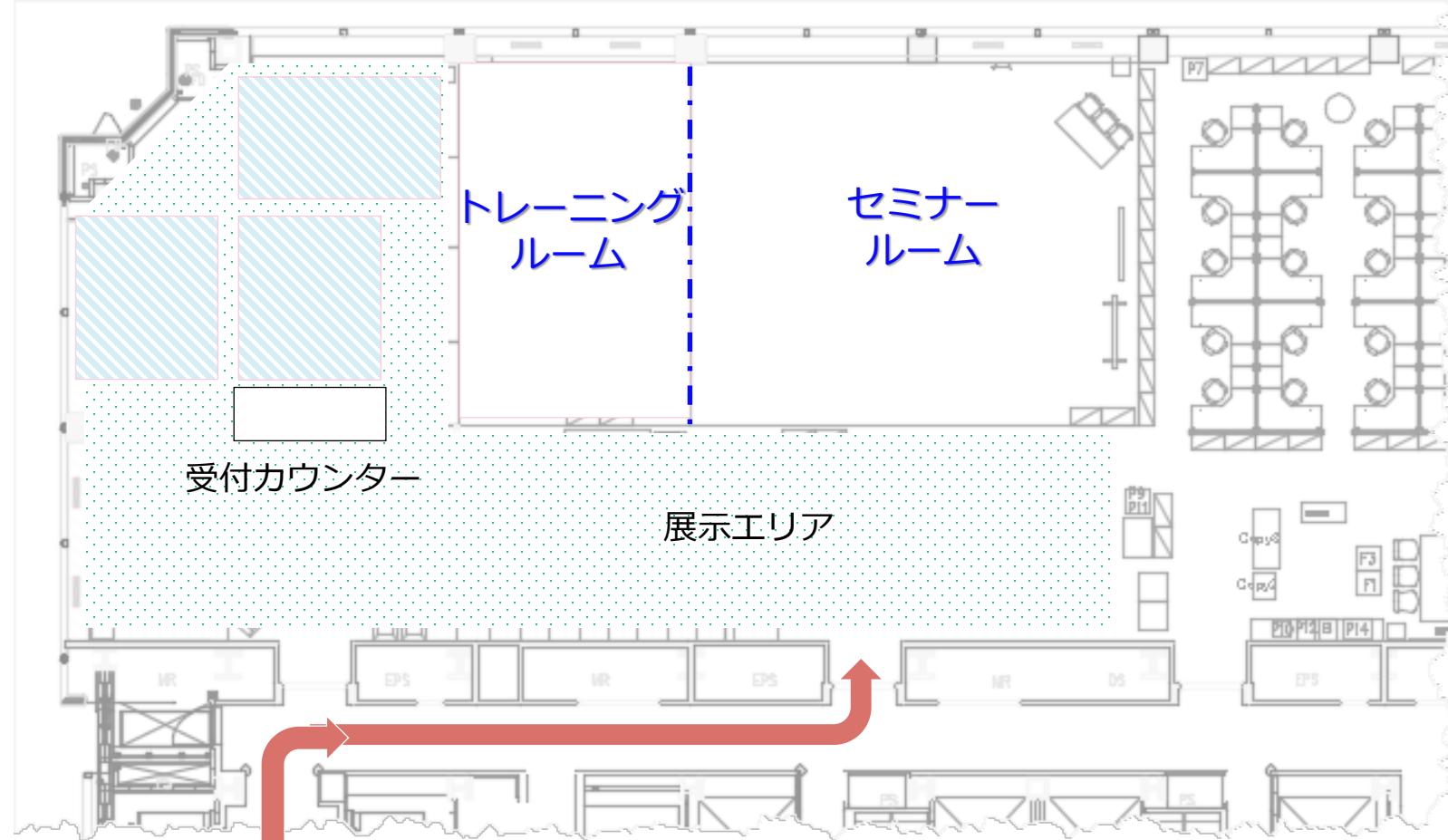
Tokyo



アジェンダ – Day 2 (11月1日)

凡例： 共通 製造 建設

	セミナールーム (定員70)	トレーニングルーム (定員30)
10:00-10:30		受付
10:30-11:40		ジェネラル セッション – Day 2
11:40-13:15		休憩
13:15-14:00	Autodesk Construction Cloud API アップデート	Autodesk Platform Services で GraphQL を 使用して粒状設計データにアクセス!
14:00-14:15		休憩
14:15-15:00	Design Automation API for Revit アップデート	Autodesk Platform Services(VS Code Extension) を使って理解するiLogicコンフィギュレータアプリ ケーション
15:00-15:15		休憩
15:15-16:00	AECの分野での今後のAutodeskのクラウドサービスの 展望	AutoCAD - クラウドへの接続
16:00-16:15		休憩
16:15-17:00	Revit モデルの IFC 書き出し	Manufacturing Data Modelの概要



Elevator





AUTODESK

DevCon

Tokyo
35.65°N, 139.78°E



免責事項

本イベントでのプレゼンテーションには、当社の見通し、将来の実績および関連する仮定、獲得可能な最大市場規模、買収、製品および製品能力、戦略に関する将来の見通しに関する記述が含まれる場合があります。これらの記述は、現在判明している要因に基づく当社の最善の判断を反映したものです。実際の出来事や実績は大きく異なる可能性があります。当社の実績が将来の見通しに関する記述と異なる原因となりうる重要なリスクおよびその他の要因については、www.sec.gov で入手可能な最新の Form 10-K および Form 10-Q を含む当社の SEC 提出書類をご参照ください。

これらのプレゼンテーションにおける将来の見通しに関する記述は、プレゼンテーション実施日当日時点でのものです。これらのプレゼンテーションが実施日当日時点以降に見直される場合、たとえその後当社が当社の Web サイトその他で利用可能にしたとしても、それらのプレゼンテーションには最新または正確な情報が含まれていない可能性があります。当社は、将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を一切負いません。

当社の製品およびサービスに関する計画済みまたは将来的な開発努力に関する記述は、製品、サービス、または機能が将来利用可能になることを約束または保証することを意図したものではなく、単に当社の現在の計画を反映したものであり、現在当社が把握している要素に基づくものです。これらの記述に依存して購入の意思決定を行うべきではありません。

注意：すべてのオートデスクのコンテンツは所有権で保護されています。許可なくコピー、投稿、配布しないでください。

アジェンダ

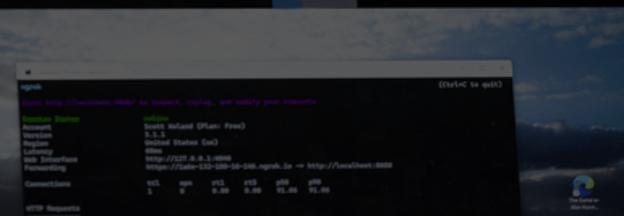
```
public void BussinessComponent(Document doc, HttpServletRequest req)
{
    LogTraceContext Processing = doc.getLogContext();
    try
    {
        // Using BusinessLogExtension
        if (CmpNameType.HTMLBody == 2)
        {
            int iterations = map.get("Logic").get("Iterations");
            LogTraceContext.CValue.of(Iterations).in(Elements);
        }
        if (CmpNameType.StringCollectionBody == 2)
        {
            IStringCollection stringCollection = map.getStringCollection("com:tringCollectionBody");
            foreach (String str in stringCollection)
            {
                LogTraceContext.CValue.of(str).in(stringCollection);
            }
        }
        if (doc.DocumentType == DocumentTypeDefinition.AlertErrorContent(next))
        {
            LogTraceContext.CValue.of(next);
        }
    }
}
```



オートデスクと AI

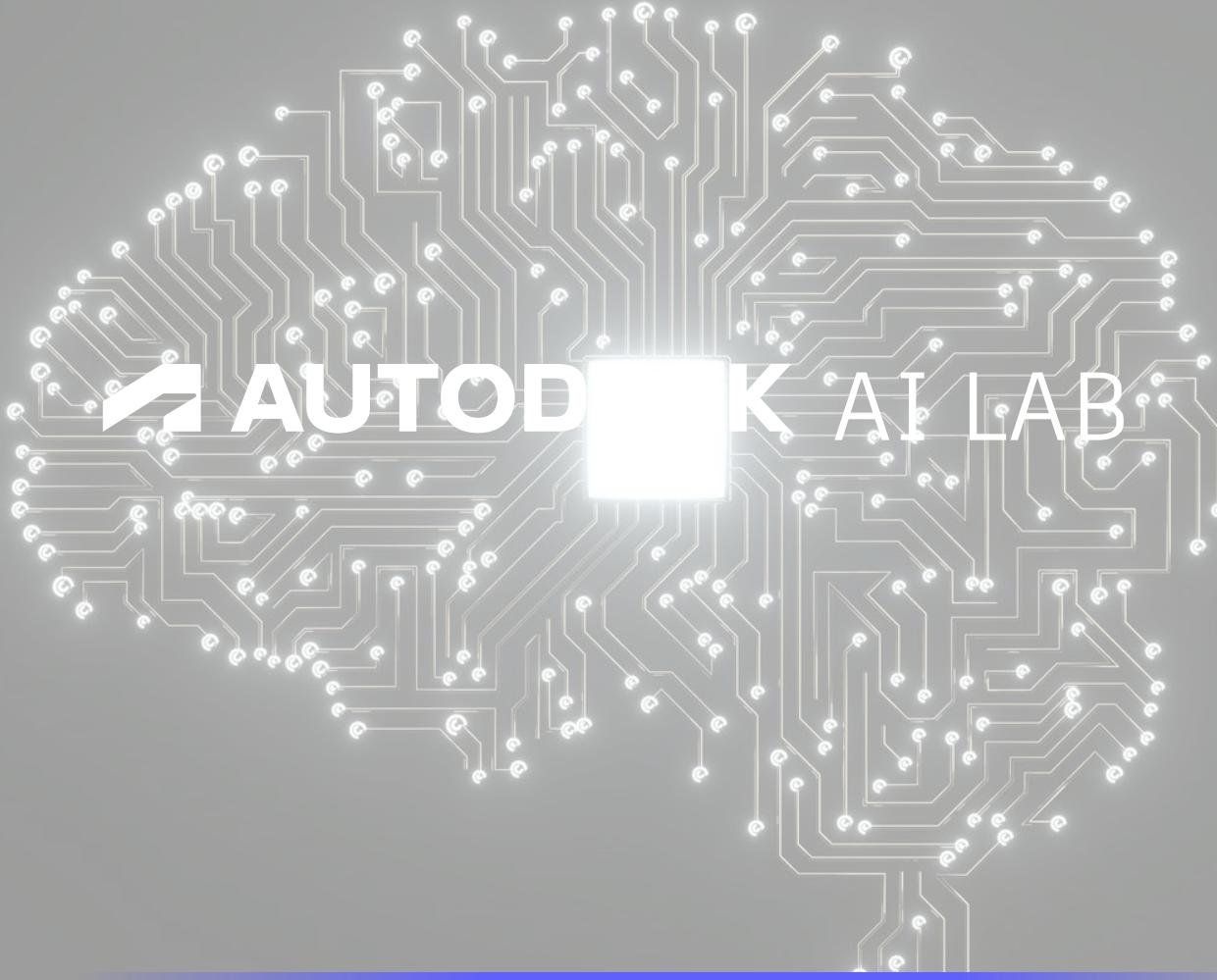


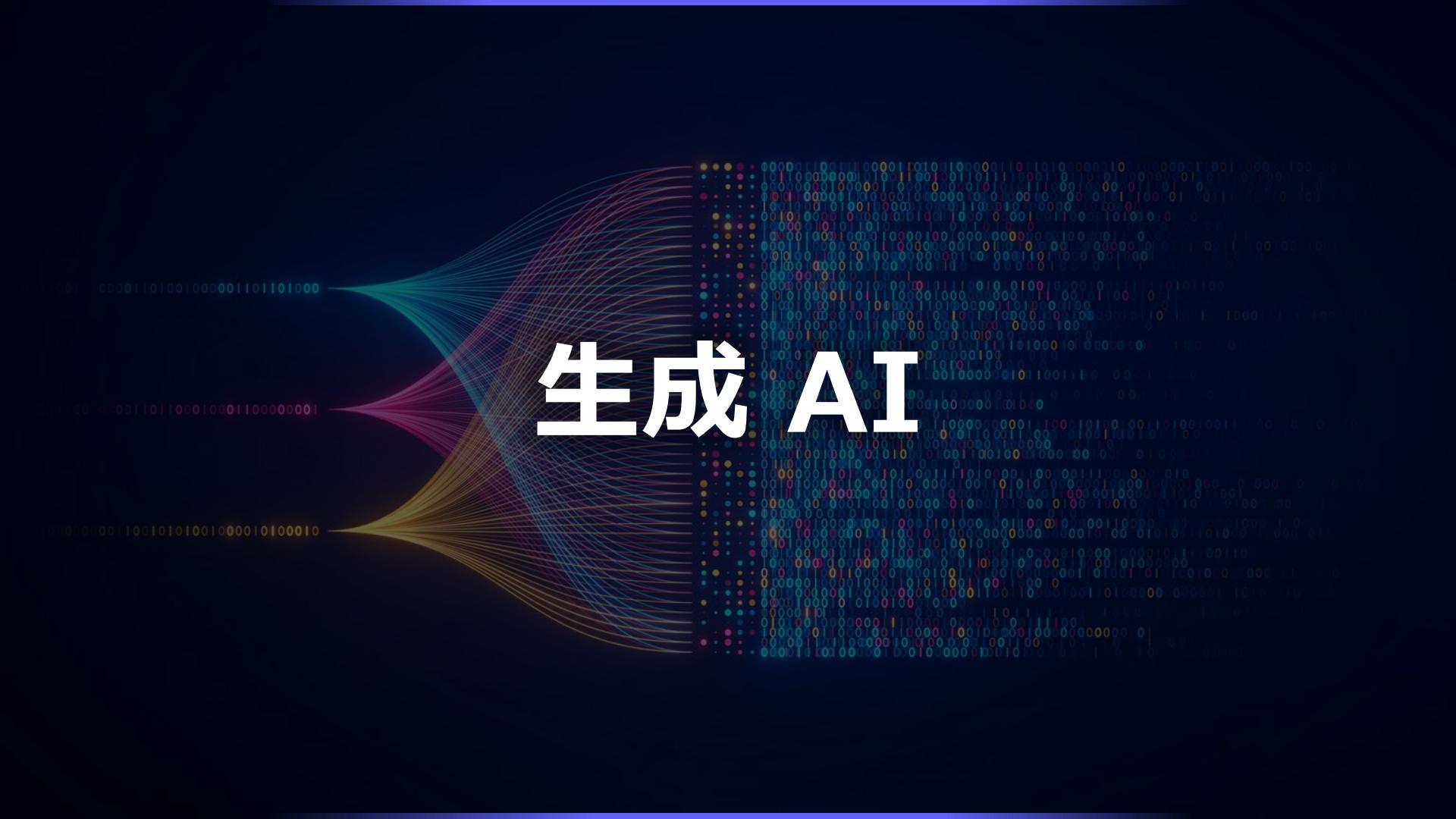
APS ロードマップ





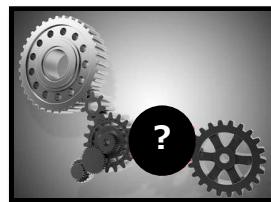
AUTODESK AI LAB





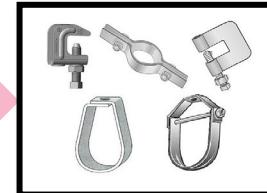
生成 AI

アセンブリ完了

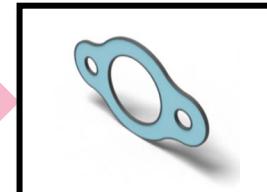


プロンプト生成

2インチパイプのブラ
ケットをXに取り付ける
低コスト製造のための
材料オプションを示す



スケッチから 3D の生成



スタイル化



画像からテキスト/コード/プラン生成



Show code violations

露出したアスベスト材料
は有害物質の除去が必要
絶縁されていない電気接
点がパイプに近すぎる

生成 AI デザインの機能



適切なワークフロー



結合型生成 AI



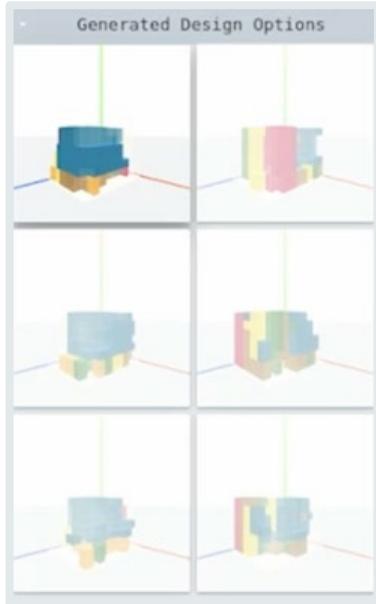
調整



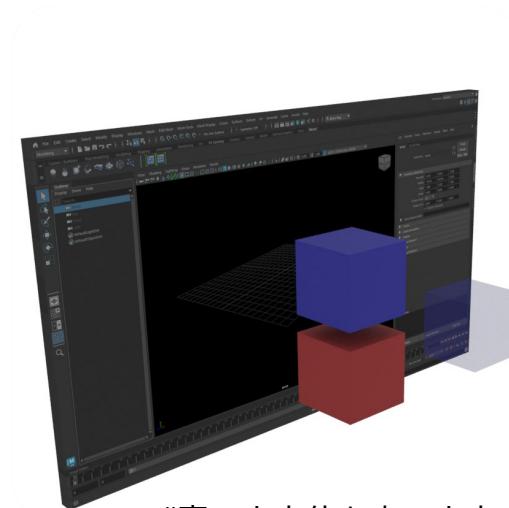
Autodesk AI Lab 研究領域



ソリッドモデルの生成



AIを活用した
コンセプトデザイン



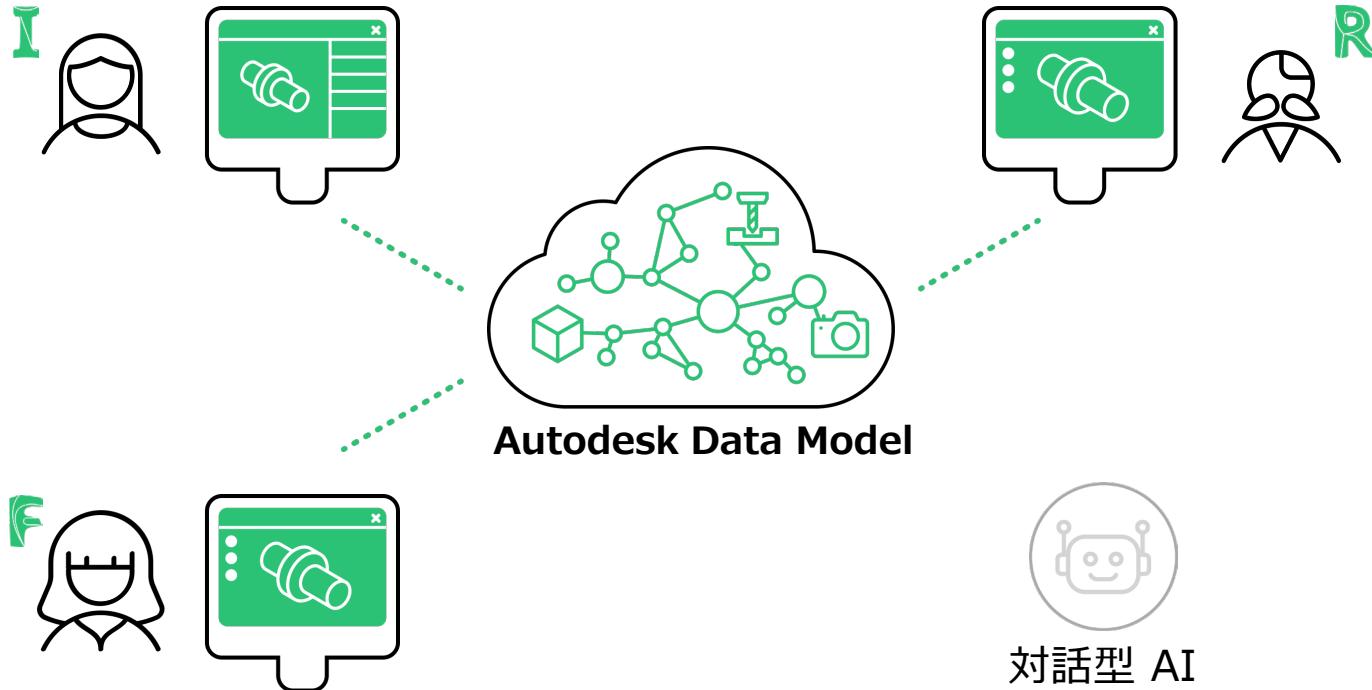
“青い立方体を赤い立方
体の上に移動して”

自然言語でのデザイン

粒状データを用いたチャットボット

- 非設計者向けの AI ユースケース

イネーブラーとしての Autodesk Data Model



デモ

最良の結果を導くオートデスクプラットフォーム



データをつなぐ



チームをつなぐ



ワークフローをつなぐ

信頼できるプラットフォーム

開発者と API エクスペリエンス



ISV

発見する

構築する

管理する

配布する



SI

開発者は APS を発見して
無料トライアルにサインアップ
API を評価



顧客

開発者はドキュメントから
継続して学習
開発環境を設定後アプリを構築
サポートから支援を受ける

アプリは運用環境にデプロイ後
開発管理者は API キーを管
API とトークン使用状況を監視

オートデスクのエンドユーザ
にアクセスしてビジネスをど
のように成長させるられるか?

発見可能

一貫性

モダン



開発者エクスペリエンス

デベロッパー ポータルと App Store

現在



モダン

- App Store 使用レポート
- 公式ロードマップ
- アプリのコラボレーション能力

発見可能

- デスクトップとクラウドの開発者向け統合リソース
- すべての学習リソースを API ごとに 1 ページに集約

次に



モダン

- Webapp 公開の改善
- APS アプリ API

一貫性

- 開発者とアプリを組織レベルで管理

以後



モダン

- 組織レベルでのアプリ開発に関するアクセスやコストの表示と管理

発見可能

- オートデスク製品を横断する拡張アプリ

API ロードマップ

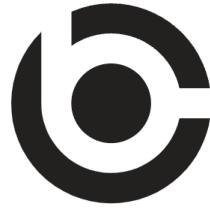
AUTODESK®
BUILD

Forma

 AUTODESK
Construction Cloud



Viewer



BUILDING CONNECTED
AN AUTODESK COMPANY

 AUTODESK
DATA MODEL



SDK ロードマップ

現在



.NET SDKs Public Beta

- Model Derivative
- Data Management
- Webhooks
- OSS

次に



.NET SDKs 公式リリース

- Data Exchange コネクタ SDK
- Node.js SDK

以後



ACC Issues SDK

- SDK 内の拡張認証サポート

Viewer の強化



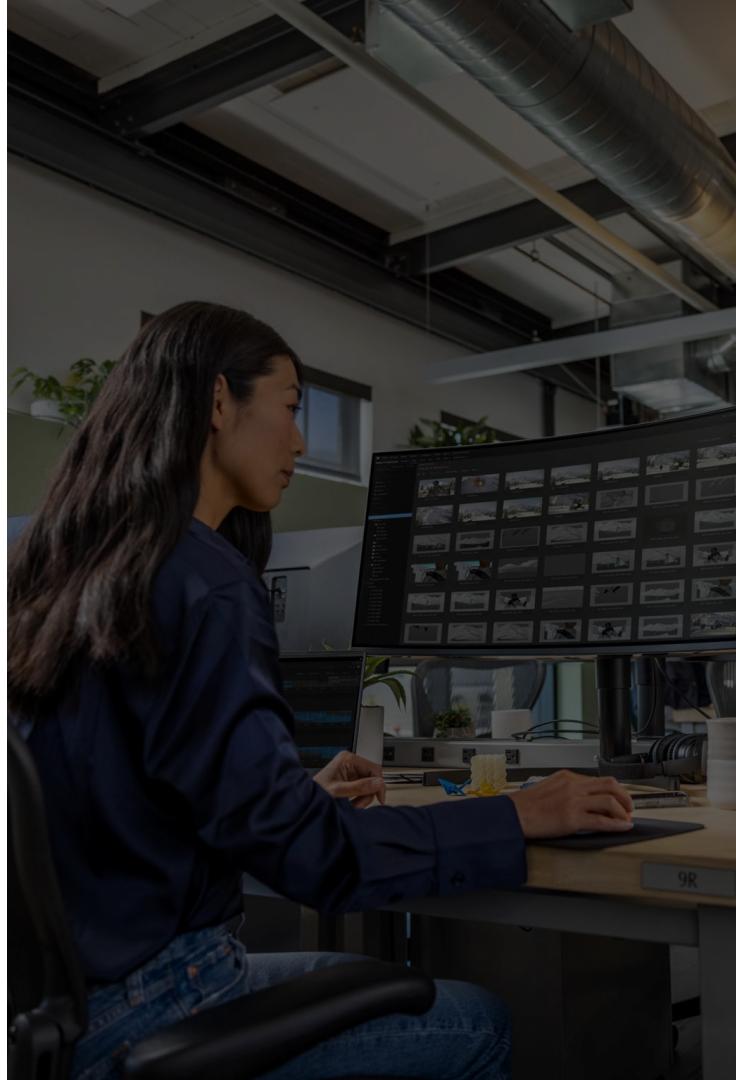
選択ロードによるモデル読み込み時間の短縮



Codepen によるカスタマイズの
プロトタイピングを可能にするドキュメント



将来：
大規模モデルの表示とナビゲーションの
パフォーマンス向上





Data API

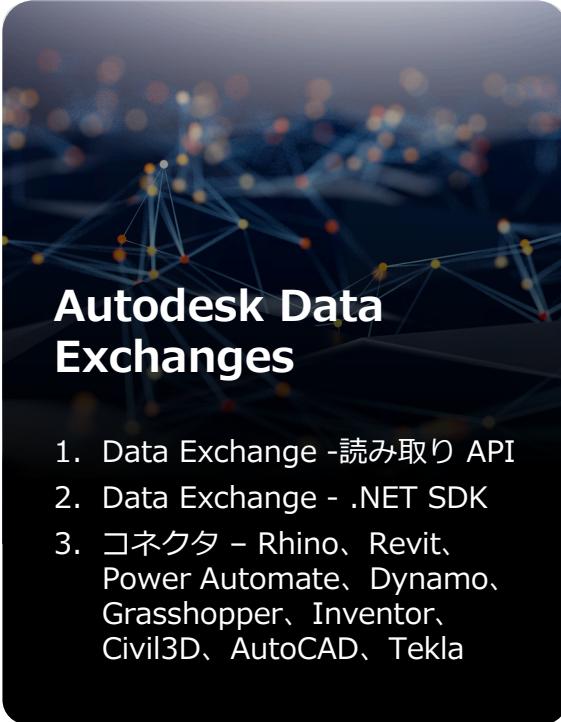


利用可能なサービス



Autodesk Data Model

- 1. Project と Hub API
- 2. MFG と AEC
プロパティ - 読み取り API
- 3. データ拡張性



Autodesk Data Exchanges

- 1. Data Exchange -読み取り API
- 2. Data Exchange - .NET SDK
- 3. コネクタ – Rhino、Revit、Power Automate、Dynamo、Grasshopper、Inventor、Civil3D、AutoCAD、Tekla



まもなく登場!

- 1. 統合 API
- 2. ジオメトリと要素のメタデータ
- 3. コネクタ - IFC、SOLIDWORKS®、PowerBI、BIM360
- 4. 双方向性（書き戻し）



ACC 統合オプション



新しい ACC 統合オプション

AUTODESK® BUILD



BUILDING CONNECTED
AN AUTODESK COMPANY

NEW!

- AutoSpecs 読み込み API
- Forms API (C/U)
- Cost Management & Webhooks API
- Admin Projects/Users Read API

- BC 読み込み API
- BC 書き込み API (Private Beta)
- Autodesk Docs Integration

第二四半期に
計画

- Admin Projects/Users 書き込み API (Beta)
- Reviews API (Private Beta)
- Submittals Read API
- Aggregate API
- Parameters API

- BC Webhooks API
- TradeTapp API (Beta)



Autodesk Forma

最初の Forma 提供の拡張



Autodesk Forma

最初の Forma 提供の拡張

現在



- ジェネレータを介して Forma アプリ内で直接オーサリング機能を拡張可能に

次に



- Forma アプリ内で直接分析機能を作成
- Forma 内で GIS データを接続、再販
- オーサリング アプリを Forma に接続

以後



- Forma 機能を Forma 外で活用
- フロアプランと建物要素の自動化
- カスタム ダッシュボードの作成

** Public BETA **

** Discovery and closed BETA **

** Discovery**



Autodesk Tandem

An innovative digital twin platform, and its new API



Autodesk Tandem プラットフォーム ロードマップ

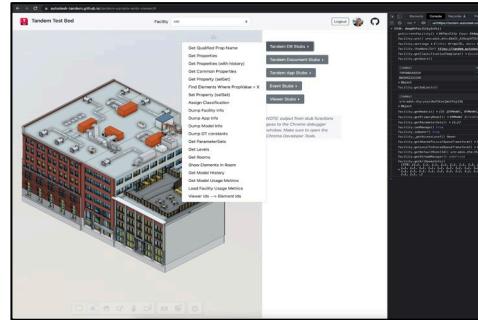
現在

REST API

A screenshot of the Autodesk Tandem REST API interface. It shows a table of asset data with columns: Name, Level, Classification, and ID. The table contains numerous rows of data, such as 'CMTC-CEP09', 'CMTC-VSP09', and various floor levels (21, 22, 23) across different classification categories like 'System' and 'Floor'.

- アセット情報モデルへの読み取り/書き込みアクセス
- Append/Query access to Streams, e.g., time series data
- ストリームへの追加/クエリー
アクセス (例) 時系列データ

JavaScript SDK

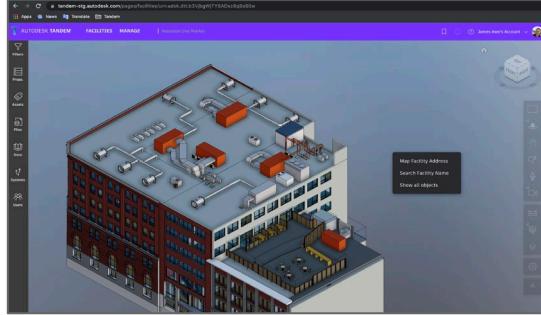


- デジタルツイン ビジネス ロジックの上位 API
- クライアントサイドに埋め込み可能なカスタム デジタルツイン アプリの作成
- サーバーサイド (Node.js) で使用

** BETA until Nov. 2023 **

以後

Tandem エクステンション



- Enable vertical integrations with CMMS/IWMS solutions
- Support custom data analytics on Tandem data

** Not available **

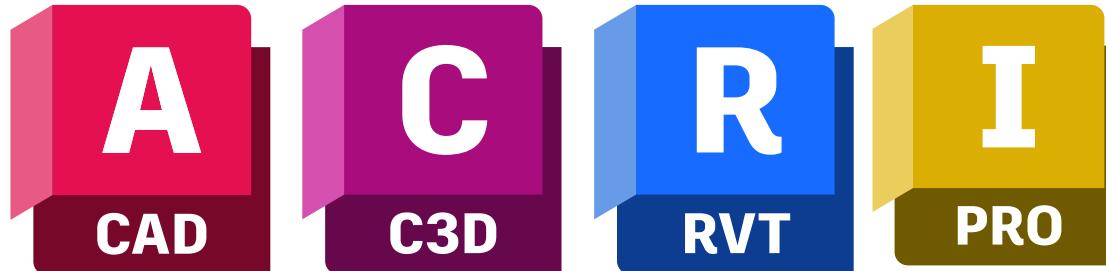


Autodesk Desktop API



モダンな .NET プラットフォームへ移行

.NET Core、.NET 6.0/7.0/8.0、.NET プラットフォームは最新のテクノロジーを示す同義語



Managed API Layer



.NET

** 製品固有のAPIに変更はないが基礎となる技術が変化



AUTODESK